

おうちで楽習保育®をやってみよう

入学準備編

0歳からの積み重ね！

入学準備と聞くと、どのように感じるでしょうか。まだイメージすらできないな、一体何をしたらいいんだろう、うちにはまだまだ先の話…。

今回は、みなさんのご質問にお答えしながら、入学準備に向けて家庭でも取り組めるあそび・活動を3つの編成(まなび編・せいかつ編・こころ編)でご紹介していきます。

ママ・パパの悩みに 専門家が答えます！

Q 一人娘で甘やかしてしまい、わがまま放題です。学校生活で、お友だちと上手に付き合っていけるでしょうか。(4歳/女児のママ)

A お子さんは、保育園生活でも社会性を培っています。おうちでも、少しずつ生活のルールなどを一緒に決めてみるのもよいでしょう。友だちとの関係で必要なことは、自分とは違った考えがあることを知り、相手を認めていくことです。ご家族と、いろいろな意見やその理由を話したり聞いたりする機会を持ってみてください。

Q 文字に興味がないようで、名前も書けません。集中力もない子なので、不安しかありません。(5歳/男児のママ)

A 大丈夫なのかな、と不安になりますよね。その焦燥感や不安はそのままお子さんにも伝わってしまうものです。興味を持つためには、その行為がお子さんにとって楽しいこと(集中できる)が大前提です。大好きな本を繰りかえし読みながら、文字に触れる機会を増やしたり、あそびのなかで一緒に名前を書くことを取り入れたりしてみてください。保育園でも、あそびの中やワークを使った活動で名前を書く経験を重ねています。友だちと一緒にだと、意欲がより高まると思います。

Q 何歳から入学準備に向けて意識を持った方が良いですか？家庭でできることはありますか？(3歳/男児のパパ)

A 入学準備というはまだ想像もつかないかと思えます。お子さんがのびのびと過ごせるよう、今できることを育み、見守っていくことが大切です。あそび、生活(食事、睡眠)が学びの基礎を作ります。家庭でできることを下記にまとめておりますので、ご参考にさせていただきます。

入学準備に向けて大切な3つの準備

家庭でできること

まなび

せいかつ

こころ

入学準備では、どうしても勉強的要素に目がとらわれがちですが、この「まなび」を支えるのは、「せいかつ」と「こころ」なのです。3つのバランスを大切にしていきましょう。それぞれ、ご家庭であそびながら取り組んでいただけることをご紹介いたします。

まなび編

絵本のよみきかせ(0歳~)

親子の触れ合いの時間が心の安定を促進します。言葉の響きを楽しんだり、絵本の世界に興味をもっていくと、言葉の理解から物語の理解へと発展していきます。好きな世界を広げることができる素晴らしい経験です。

手先指先を使う活動(1・2歳~)

手や指先の神経は脳とつながっているため、手先の動きの成長を促すと同時に集中力や根気強さ、好奇心、創造力など自分で考える力を育むことになります。

楽習保育®の公式YouTubeチャンネル「楽習保育®チャンネル」では手先指先を使う楽しいあそびを動画で紹介しております。是非ご参考ください。



動きの予測できるかな？
手作りボールあそび
<https://youtu.be/bNmwh9mmGQ0>



手作り楽器を楽しもう
~リズムック®あそび
<https://youtu.be/sddcgpNIR0k>

お出かけ計画：しおり作り「調べる・考える・表現する」(3・4歳~)

近所へのお出かけでもOK「何しようか?」「たのしみだね」と家族で沢山話しながら作ってみましょう。お出かけ先で●●探ししようなど楽しい目的を設定してみるのも楽しいです。

※外出も「連れられて歩く」ではなく「子ども自身が目的をもって歩く」ことで子どもの主体性をはぐくみます。

児童書など物語に触れる(5歳~)

小さい頃から親子での読み聞かせを繰り返し楽しんでいると創造力や表現力が育まれ「お話あそび」へと発展していきます。その後のお話を自分で考え表現したり(文字・画)、家族で話したりするのも面白いですね。印象に残ったセリフを生活場面で使うと日常も楽しくなり、語彙の用法の理解にもつながります。子ども自身に読書習慣がつかると、学習の元となる語彙力、想像力、思考力、読解力が伸び、自ら学ぶことを楽しむ子どもに育ちます。

トランプあそび・ボードゲーム(5歳~)

配る係(人数分に分ける)や、7並べ(数の増減)などのあそびを通して先を見通す力・思考力・コミュニケーション力を楽しく養うことができます。

せいかつ編

体力づくり

乳児(0、1歳)のうちから自分の体を支える動きや、姿勢を保つ力を育てること、沢山歩くことが大切です。この積み重ねが、ランドセルを背負って通学することや、一定時間座って授業を受ける体のベースを作ります。

早寝早起き、朝ごはんをしっかり食べる習慣

食べたものが栄養となり、脳・体が動き出す活力に繋がり、考える力の基礎になります。安定した排便習慣を身に付けることにも繋がります。

安全意識を育て、身を守る方法を知る

就学前には、学校までの通学路と一緒に親子で歩いてみましょう。雨の日や、夕方など環境の違う日にも試してみて何が危険かを知り、困ったときはどうすればよいか家族で考えてみましょう。

こころ編

親子で対話タイム!

その日の出来事・感じたことを、お子さんが家族団らんの場で話し、あたたかく受け止めてもらえることが、心の安定へ繋がります。

例 「ランドセルも用意したし、学校までの道順も歩いてきたから大丈夫!」
「何が楽しみな?」
「小学校で○○するの楽しみなね!」など、肯定的な声掛けをして安心させてあげましょう。

時にはお子さんに自分の気持ちをきいてもらうことも良いと思います。受け止めてくれるだけでなく、思いもよらないアドバイスをもらえるかもしれません。(子どもの発想はそれだけ豊かで自由です)

パパ・ママの姿見えてね!

実感している方も多いと思いますが、お子さんは想像以上に大人を見ています。ということは、保護者が最高のお手本になるのです。

公共の場での親の姿(挨拶をすることや、適切な振る舞い)を見せ続けていくことが、お子さんにとって当たり前な姿と認識され「できる」につながっていきます。

規範意識の獲得(いいこと悪いことの区別)、道徳心を育む、ことに繋がります。

専門家の声 VOICE



わたなべ 渡邊 ひろみ先生

楽習保育® 教育アドバイザー

小学校入学は親子にとって生活が大きく変わる節目の年です。良いスタートを切らせてあげたい!と楽しみに思う一方で心配も。園では小学校への橋渡しを、小学校では園に近づけたカリキュラムを通して円滑な接続への取り組みがなされています。経験から得た学びやコミュニケーション力、社会性など園で培った子どもの力を信じて、任せられそうなことは関わり方も見直してみましょう。

大切なことは、出来ているかの確かめや周囲と比べることではなく、わが子の以前と今を比較して少しでも伸びたところや頑張っている過程に光を当ててほめることです。足りないところを指摘されるより、良いところを認めてもらうことのほうが、自信や意欲につながります。それは、必要な自立(学習・生活習慣・精神的)にも結びつくもの。また、保護者自身が何かに楽しく取り組み学ぶ姿を見せることも、子どもの原動力になるでしょう。親子一緒に楽しく学校準備を行ってほしいと思います。